

事業番号	367
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	青年の家施設整備事業						担当部	教育委員会事務局		
	会計区分	一般会計			事業類型	施設整備系		担当課	生涯学習課		
	事業期間	～ 平成24年度						担当係	青少年育成係		
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		17 生涯学習		3 健全な青少年を地域で育てる				
		副目的									
	予算区分	款	10	項	5	目	4	大	2	中	2
	根拠法令・個別計画										
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	青年の家の施設改修を行い、利用者が快適に利用できる施設とする。									
	内容 (手段)	<p>◆24年度の実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大小浴室の洗い場タイル床及び脱衣所の床張替 <p>◆24年度の直接経費の内訳</p> <p>工事費 1,417,500円</p> <p>◆25年度の直接経費の内訳</p> <p>無</p> <p>施設の老朽化に伴う、必要最小限の改修については、随時検討していく。</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円			1,417	0	
		正職員	従事者数	人			0.05	0.00
			人件費	千円	0	0	266	0
		その他職員	従事者数	人			0.00	0.00
			人件費	千円			0	0
	費用合計	千円	0	0	1,683	0		
	対前年比	%		#DIV/0!	#DIV/0!	0.0		
財源	一般財源	千円	0	0	1,683	0		
	国・県支出金	千円			0	0		
	その他財源	千円			0	0		

業 績	活動指標名		単位	H22	H23	H24	H25
	修繕箇所数	箇所	目標			—	—
			実績			1	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H22	H23	H24	H25
	修繕箇所数	箇所	目標			—	—
			実績			1	
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	宿泊利用の無い年末年始期間に工事を施工することで、利用制限をかけることなく、施工できた。		
		事業実施における課題	施設の老朽化に伴う、必要最小限の改修が必要である。		
		事業を縮小・廃止したときの影響	利用者が青年の家を快適に利用できなくなる。		
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	施設の老朽化に伴い、必要最小限の改修について検討する。		
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)	
		判定理由	青年の家を安全かつ、快適に利用してもらうためには、事業の継続が必要である。		
		26年度以降の改善案	今後も修繕の繰り返しが予想されるため、適切な施設管理に努める。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。